

市民と歩む議員の会

議会報告 いけぶち佐知子



発行：「市民と歩む議員の会」 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40（吹田市役所内） TEL：06-6384-1231(代表) 2019.05 No.57【通巻128】

■ 中核市移行の申し出 議案に反対した理由

いけぶちは、中核市移行そのものを反対しているわけではありません。なのに、なぜ議案に反対したのか？ それは、行政が言ってきたこととやっていることが違うからです。市民を第一に考える「市民と歩む議員の会」だからこそ反対しました。

「物事は、結果がすべて」とも言われますが、やっぱり、政治はプロセス(経過)もとても大事です。どのように考えて、どのようにしてきたか、結論が出た後の、進め方にも大いに影響すると思っています。

中核市について市民への説明も足りないし、機運も高まっていないということで、委員会で中核市の指定の申出まで、もっと時間をかけてはどうかと主張しましたが、他の委員の同意が得られませんでした。

facebook



■ いけぶち佐知子 質問項目(個人質問)

- SDGs 先進事例を学び、市政に生かせ
 - ・目標1 貧困をなくそう
子どもの学習支援
 - ・目標5 ジェンダー平等を実現しよう
すいた男女共同参画プラン年次報告から
目標達成のためにできること
 - ・目標11 住み続けられるまちづくり
環境美化推進重点地区および
路上喫煙禁止地区の指定を拡大せよ
「すまいる条例」を形骸化させるな
電線類の地中化
- ユニバーサルカラーデザインのチョークを全校で使用せよ
- 「きょうよう」と「きょういく」
千里山・春日地区の地域公共交通の社会実験
- この4年間を振り返って
後藤市長になって初めて取り組んだこと
これまでの市長が進めてこられ結実したこと

中面に主な質問内容を掲載しています。
詳細な内容は、吹田市議会の会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。また、市議会のホームページでは、会議録の検索・閲覧、本会議の録画放映の視聴ができます。(2018年9月定例会からはスマートフォンでも視聴できるようになりました。)

■ 補正予算ですぐに対応しなければならない理由

平成30年度一般会計補正予算(第9号)および平成31年度一般会計補正予算(第1号)への質疑を行いました。

小・中学校の大規模改造事業の国庫補助がついたとのことで、平成31年度の改造事業計画を前倒して平成30年度予算で行うとのことでした。

太陽光発電設備を設置する学校としない学校があり、その違いについて尋ねました。また、環境教育の一環から、発電量が見えるモニターを設置することについても質問しました。

回答は、スペースや校舎への荷重、財政の課題があるため、毎年2校ずつの整備を目標としており、モニターについても下足ホールなど、子どもたちが見えやすい場所に設置するとのことでした。

吹田市プレミアム付き商品券事業については、10月から予定されている消費税アップを少しでも軽減するための事業です。今でなければならぬ理由がわからないため質問しました。

回答は、内閣府から示されたプレミアム付き商品券事業実施要領案にしたがって、購入できる対象者の抽出や、申請書の発送のための準備期間を考えると、当初予算の補正として提案しておく必要があるとのことでした。また、全国的に実施される制度のため、対象者が転出入した時も、新たな市町村で制度が受けられるようにする必要がありとのことでした。

いけぶち佐知子 ■ 本会議での質問・質疑

吹田市議会で定期的に、総合的な問題を採りあげ政策・議論を行います。

あなたも、市議会を傍聴してみませんか？
6月3日(月)～10日(月) 6月臨時議会。

貧困の連鎖を断ち切る/子どもの学習支援の実施

SDGsの目標1にある「貧困をなくそう」に関連して、子どもの学習支援に関する質問をしました。

いけぶち質問

貧困の連鎖を断ち切るために、学習支援拠点施設の整備や居場所づくり、子ども食堂への助成制度を行っている先進自治体があります。

吹田市では、教育委員会の事業として「小・中学校放課後学習支援事業」と福祉部の事業として「生活困窮世帯の子どもの学習支援教室事業」があります。

生活困窮世帯であるか否かについては、行政内部での区別があったとしても、子どもたちを区別することなく事業を進められないのでしょうか。別々の部署で同じような事業をするのではなく、融合した事業として組み立てられないのでしょうか。

教育監

教育委員会の事業は、家庭の経済状況にかかわらず、全児童・生徒を対象としており、学習意欲の向上や自学自習力を図るためのものである。

教員志望の学生ボランティアや、教員経験者等の学習支援者を放課後、実施校に配置し、個々の学習課題に取り組んでいる。

福祉部長

学力の向上を図る支援だけでなく、不登校、ひきこもりや家庭の状況に課題のある子どもに関して、課題解決のための生活支援も併せて行っている。

一人でも多くの子どもの支援につながることを第一に、教育委員会をはじめ、関係機関との情報共有をより深め、貧困の連鎖を断ち切るために、効果のあるものにしていきたい。

男女共同参画意識を高める

いけぶち質問

SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、男女共同参画社会の実現に向けた意識改革について、これまでと同じような広報、啓発活動では、意識改革は進まないのではないのでしょうか。

男女共同参画センターだけでなく、他の公共施設でもイベントや講座を開催すれば、参加者のすそ野が広がり、男女共同参画社会への意識が浸透していくのではないのでしょうか。

市民部長

主催事業の多くは男女共同参画センターで行っているが、他の公共施設（のびのび子育てプラザ、地区公民館、小学校PTA家庭教育学級との共催）で開催している。

来庁者のための一時託児スペースの設置を求める

いけぶち質問

吹田市特定事業主行動計画の中に「子どもを連れて来た人が安心して来朝できるよう、乳幼児と一緒に安心して利用できるトイレやベビーベッド、授乳室の設置に努め、すべての職員は親切な接遇に努めます」とあります。

もう一步進めて、子どもの一時託児スペースをぜひ設置していただきたいと思いますが、いかがですか。

総務部長

平成29年(2017年)5月定例会でも質問され、答弁したが、その後も、事業の拡充や業務量の増加による人員増もあり、スペースをとることは難しい。

いけぶちコメント

吹田市では、次世代育成支援対策推進法に基づき、一事業主としての立場から、吹田市特定事業主行動計画?安心して子育てのできる職場環境づくりプログラム?を策定しています。

公共が率先してよいことを進めることは、他の事業者や地域への良い影響をもたらします。

たとえばある病院では来院者の子どもを一時預かりするサービスをしているところもあります。

吹田市民病院にも、院内保育所を活用して実施できないか、以前提案しましたが、実現していません。

子育て中の人も、そうでない人も同じように行動できるような仕組みが必要です。

DV対策と児童虐待対策と互いに連携すること

いけぶち質問

DV相談件数や児童虐待相談件数が増えています。また、ストップDVステーション（DV相談室）の認知度の目標値が100%に対して、実績値が11.2%とかなり低い状況です。

目標値への達成の可能性についてお尋ねします。

市民部長

相談件数の増加は、問題に対する意識の高まりもあるためと認識している。今後も効果的な支援を実施できるよう取り組んでいきたい。

ストップDVステーションの認知度アップのために、中学生を対象としたデートDVの出前授業の実施や、Wリボンプロジェクト（DV防止の紫色と児童虐待防止の橙色のリボンのセット）を通じて、啓発を行い、DVの知識を深め、DV防止の意識を向上させていきたい。



市議会HP



政策や方針決定の場への女性の参画を推進させよ

いけぶち質問

「すいた男女共同参画プラン年次報告」に、能力がありながら昇進したくない女性職員がいると書かれています。

職員の女性の比率は、平成29年度全体で約4割が女性、主査級約35%、課長代理級約33%、課長級約21%、次長級約8%、部長級約12%となっており、昇進に従ってその比率は下がっています。昇進し、生き生きと仕事をしている女性職員のロールモデルがないからではないでしょうか。

女性活躍担当理事

役職が上がるにつれ女性職員の割合が低くなっているが、性別役割分担意識等により、管理職になるにあたっての十分な職務経験を積む機会が少なかったことや、仕事と家庭の両立に影響が出ることに対する不安があることなどが、その原因と考えられる。

女性職員の役職者・管理職への積極的な登用につなげるため、適性や経験を生かせる職や、知識・経験を身に着けることができる職への人事配置を進め、男女ともに働きやすい職場環境づくりを進めている。今後さらに、キャリア形成を支援する研修等を実施していきたい。

いけぶちコメント

かつては、女性職員の横のつながり(ネットワーク)がありました。今はないとのこと。ロールモデルとともに女性職員たちが横につながることも大切だと思います。

環境美化推進、路上喫煙禁止の地区を増やせ

市長あいさつの中で、新たに環境美化推進重点地区と路上喫煙禁止地区を指定したとありました。スモークフリー(喫煙しないまち)を進めると市長は言っていますが、まずは路上喫煙禁止地区を増やしてはどうか、という趣旨で質問しました。

いけぶち質問

千里山駅前東側が整備され、西側ももうすぐ整備が完了します。これを機に環境美化推進重点地区や路上喫煙禁止地区に指定してはどうでしょうか。

環境部長

地区指定については、地元要望があり、市民等の協力が得られるなど、体制が整った地区から順に指定をしている。今後も、千里山駅をはじめ駅周辺の地区指定を地元と十分に協議し、進めていく。



住民が主役のまちづくりを進めよ

すまいる条例（吹田市開発事業の手続等に関する条例）ができてから、開発の構想段階から地域や関係住民に説明をし、意見提出、事業者の見解書提出と手続きが進むようになり、住民意見が反映されやすくなると思っていましたが、大きな勘違いでした。

構想段階とはいえ事業者は、かなり詳細な設計をしており、住民が意見を言っても、費用が掛かるので設計変更できないと突っぱねるのが定石となっています。

そうであれば、住民意見を聞くつもりがないということと同じです。

いけぶち質問

設計をし直すための費用が掛かるから、住民意見による設計変更はしない、というような事業者の見解書は受け取らず、差し戻すべきではないでしょうか。お尋ねします。

都市計画部長

すまいる条例では、関係住民に対し、早期に事業概要の情報提供を行い、住民意見に対する開発事業者の見解を交わす、構想の手続を設けている。

また、構想手続き機能がより一層発揮できるよう手引書を作成し、事業者に必要な手続きを強く求めている。

しかし、効率性や収益性のみを重視するケースも見受けられ、事業者には真摯に対応するよう強く求めている。

事業者の見解書が関係法令の基準の範囲内であれば差し戻すことは難しいが、丁寧に説明をするよう事業者を重ねて指導する。

いけぶちコメント

良好なまちづくりを行うために、すまいる条例に基づく環境配慮指針として「環境まちづくりガイドライン」があり、事業者が早い段階から、環境への取り組み内容を検討することを求めています。

まちづくりを規制するだけでなく、先進的なまちづくりを促すことが大切です。

電線類の地中化について、現在は同ガイドラインに記載されていませんが、例えば、JR岸辺駅北側（岸部中の工場跡地）に予定されているある程度広い新たな開発地には、電線類の地中化を促してはどうかと提案しました。

これまでも道路の電線類地中化について、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観形成など、効果が期待されるため、開発事業者と協議を行っており、南吹田、春日など数か所で実施された事例があるとのことでした。また、今回の場所についても事業者を検討を要望しているとのことでした。

「令和」は景観の価値が生活の質に繋がる時代です。

2015～2019年の吹田市議会の歩み(議会改革)

以下、特に市民の皆様に関係のあることを抜粋して掲載しています。詳細は吹田市議会HPをご覧ください。

議場コンサートの開催

【平成28年3月定例会、平成28年11月定例会、平成29年11月定例会】

常任委員会等から市長や教育長へ提言・意見

【平成28年(2016年)4月】

○(仮称)保育力緊急強化アクションプラン(案)に対する要望<福祉環境常任委員会>

○中学校における自転車安全利用教育の促進に関する提言、福祉避難所等に関する提言<都市環境防災対策特別委員会>

【平成29年(2017年)7月、平成30年(2018年)2月】

○第4次総合計画基本計画(素案)等に対する意見【平成29年(2017年)10月】

○「働きやすい職場環境整備について」など、11項目を提言<決算常任委員会>

【平成30年(2018年)9月】

○台風21号による被災市民への早急な支援に関する要望<議会運営委員会>

【平成30年(2018年)10月】

○「学校施設の迅速かつ適切な維持修繕について」など、5項目を提言<決算常任委員会>

質問議員の順番や質問予定日の一覧の公開

【平成28年5月定例会から】

本会議での代表質問・質問について、市議会ホームページで公開し、傍聴者にも配布

傍聴時の一時保育の実施

【平成28年9月定例会から】

1歳から就学前の幼児の保護者が本会議(初日の提案説明日を除く。)を傍聴する際に、希望者には一時保育を実施します。

議会だより定例会号の全文音訳

【平成28年11月定例会号から】

市民の要望を受け、テープ版、デジ版共に全文音訳に拡充しました。

政務活動費に関する書類の公開

【平成28年(2016年)度分から】

政務活動費について、使途の透明性をより確保するため、平成28年(2016年)度分から、各会派から提出された「収支報告書」、「会計帳簿」、「支払伝票」、「領収書等」を市議会ホームページで公開するようにしました。

また、政務活動費による行政視察(研修を含む)の報告書も、選挙後の議員任期に作成する分から市議会ホームページで公開することにしました。

行政視察の受け入れ状況の公開

【平成28年(2016年)度分から】

他市議会等からの行政視察の受け入れ状況の一覧(市名や視察項目など)を市議会ホームページに掲載し、その視察の際に使用した資料を議会図書室に開架し、閲覧できるようにしました。

市議会だより点字版の発行

【平成29年2月定例会号から】

市議会だよりの全面カラー化

【平成30年(2018年)1月1日発行の新年号、平成30年2月定例会号から】

市議会NAVIの作成

【平成30年(2018年)3月から】

「身近な市議会・開かれた市議会」を目指し、吹田市議会について、イラストや図表等を用いて分かりやすくまとめた「市議会NAVI(ナビ)」を、議会広報委員会委員で作成しました。

新放映システムを導入

【平成30年9月定例会から】

本会議等の放映をパソコンからだけでなく、スマートフォン等の携帯端末からも視聴できるようにするため、新システムを導入しました。

★6月・7月議会日程(案)★

6月臨時議会
6月3日(月)～10日(月)

7月定例会
7月11日(木)～8月2日(金)

6期目も頑張ります!



■ いけぶち佐知子のプロフィール

子育て、環境、福祉、まちづくりの市民活動にかかわる「女性を議会に!無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ
百条委員会委員(2012～2013年度)
吹田市監査委員(2013年度)

1957年/和歌山県生まれ
1979年/大阪大学薬学部卒業し、薬剤師免許取得
1999年/市民のための政治を求め立候補し、初当選
2016年/吹田女性議員の会提案により、議会傍聴時の保育を実現
2017年/議会広報委員として『市議会NAVI』を作成
2019年5月27日～吹田市議会議員(6期目)

